



ロータリーの風

国際ロータリー第 2570 地区 第 4 グループ
皆野・長瀬ロータリークラブ

平成 24 年 6 月 21 日

第 4 号

児玉 RC と皆野・長瀬 RC の合同例会

平成 24 年 4 月 9 日 (月)、お食事処「桜」(本庄市児玉町)において、児玉ロータリークラブと皆野・長瀬ロータリークラブとの合同例会が開催されました。児玉 RC 主催の合同例会は、例年 4 月に開催されていますが、昨年は東日本大震災により中止され、今回は二年ぶりの開催でした。

一昨年は、児玉 RC の案内で、例会の前に児玉の千本桜・間瀬湖の桜を眺め、成身院の百体観音を拝観しました。今年は桜が例年より遅れていたため、集合後直ちに例会となりました。

午後 5 時半に開会の点鐘、両クラブ会長の挨拶、両クラブ幹事の事項報告後、宴会に移りました。宴会では、美味しい料理を頂きながら、カラオケで自慢の歌を披露しました。のど自慢は、1 人で複数曲を披露する会員もいるなど、途中で切れ目がないほどエンタリーが続き、大盛況でした。

最後は、当クラブの小林幹事(会長エレクト)の締めでお開きとなりました。



日本舞踊を見ながらの夜間例会

平成 24 年 4 月 26 日 (木)、割烹河むら(秩父市下吉田)において、日本舞踊を見ながらの夜間例会が開催されました。高田会長が、日本舞踊の栄扇流千代珠会の後援会長をしているとのことから実現したものです。

当日のプログラムは、水芭蕉、車屋さん、はかな川、伊那の勘太郎、夢芝居の全 5 曲で、それぞれ華やかな舞踊が披露されました。舞踊の終了後、出演の皆様へ宮前会員が提供してくれた花束を贈呈し、一層華やかな舞台となりました。割烹河むらの料理も大変美味しいものでした。

最後は、新井剛太郎会員の締めにより、楽しい宴会がお開きとなりました。

(財) ロータリー米山記念奨学会

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命です。

その歴史は50年以上前にさかのぼります。平和を愛し、青少年に手をさしのべた「日本ロータリーの父」米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、東京ロータリークラブは、1952年、海外からの留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省（現・文部科学省）を主務官庁とする（財）ロータリー米山記念奨学会が設立されました。50有余年の歴史を持ち、世界に類を見ない日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっています。

米山奨学会には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

世話クラブとは

日本には約2,300のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

カウンセラーとは

奨学生1人に対して、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。



「ロータリーの森」清掃活動

平成24年5月12日（土）、国際ロータリー第2570地区の地区事業である「ロータリーの森」清掃活動が行われ、会長・幹事が参加しました。

国際ロータリー第2570地区 第4グループ

皆野・長瀬ロータリークラブ

〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬 1446 養浩亭内

例会日：毎木曜日 12:30～13:30

例会場：長瀬レクリエーションホテル養浩亭

Tel&Fax:0494-66-4134

E-Mail:minanaga@chichibu.ne.jp

区域限界：皆野町、長瀬町、秩父市吉田・黒谷・太田